

各対策の進捗状況

高塚川流域の総合的な浸水対策			
ハード対策	a	馬込川の改修・維持浚渫	継続
	b	高塚川の改修（河床掘削）	完了
	d	高塚川の改修（ポンプの増強）	継続
	g	高塚川の維持（浚渫、草刈、藻の除去）	完了継続（維持）
	c	田尻排水機場の更新	完了
	h	道路側溝汚泥の収集・処理	完了継続（維持）
	i	排水機場の運転ルールの策定、適切な維持管理	完了継続（維持）
	j	水源転換と逆流防止施設の整備（高塚川との合流点処理）	継続
	e	貯留施設整備（下水道施設）	完了
	f	貯留施設整備（校庭貯留）	完了
ソフト対策	f	貯留施設整備（公園貯留）	完了
	k	市街化調整区域における集落制度に関する開発許可制度の運用基準の見直し	完了継続（ソフト）
	l	水田貯留	継続
	m	地域防災力の向上（出前講座・避難訓練）	完了継続（ソフト）
	n	土のうステーション事業	完了継続（ソフト）
	o	緊急時のポンプによる排水	完了継続（ソフト）
	p	河川カメラ・水位計の増設・公開	完了継続（ソフト）
	q	高塚川の避難に関する情報提供	完了継続（ソフト）
r	風水害時の道路情報等を市民へ公開	完了継続（ソフト）	

a 馬込川の改修・維持浚渫

継続

項目	ハード対策	担当機関	静岡県 浜松土木事務所
	流下能力の向上、維持管理		

【対策の内容等】

馬込川河口から高塚川合流地点までの約3km区間において、馬込川の流下能力向上のための河床掘削を実施し、高塚川からの自然排水時間と排水量の増加を図る。

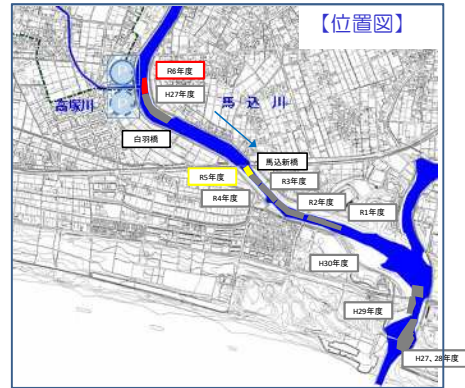
【進捗状況（H28～R7）】

全体 V=89,550m³（河床掘削量）

H28：業務委託、 H29：V=10,800m³
 H30：V=19,000m³、R1：V=7,300m³
 R2：V=16,700m³、R3：V=17,400m³
 R4：V=9,800m³、R5：V=7,290m³
 R6：V=1,260m³、白羽橋予備設計
 R7：白羽橋撤去設計、地質調査業務

【実施上の課題と対応】

- 12月～4月間は馬込川河口部において、シラスウナギ漁が行われる。漁期中は濁水を発生させる工事ができないため、工事の実施時期等が制限される。
- 河道掘削に伴い白羽橋の架替が必要となるため、道路管理者である浜松市と連携し、令和6年度より白羽橋の架け替えに向けた設計業務を実施している。



令和4年度 浚渫実施状況



令和5年度 浚渫実施状況



令和6年度 浚渫実施状況



今後の予定箇所



b d g 高塚川の改修(河床掘削・ポンプ増強)・維持

継続

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 河川課、中央土木整備事務所
	洪水処理施設の整備と維持管理		浜松市 農地整備課

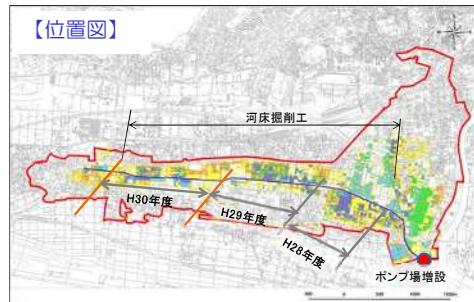
【対策の内容等】

- ・河床掘削を行うことにより、河川断面を拡幅して流下能力の向上を図る。
- ・馬込川合流点に排水機場を増設することで、高塚川のポンプ排水能力を増強し、排水能力の向上を図る。

【進捗状況 (H28~R7)】

- b. H28・H29・H30: 3ヶ年で**高塚川河床掘削工事は完了**
H28~R2: 準用河川の指定に向けたポンプ概略設計及び河川改修計画の作成及び関係機関との調整
準用指定にむけた法令整理及び財産移管等の調整
- d. R1~R4: ポンプ場概略・詳細設計
R5: ポンプ場土木工事着手
R6: ポンプ場土木工事完了
建築工事着手
R7: ポンプ場建築工事完了
機械・電気工事着手
- g. H28~R7: 治水上支障がある場合は、除草工を実施

【位置図】



【実施上の課題と対応】

- ・ポンプ場躯体工事の施行時に仮締切工の部分崩壊が発生し、全体工程に遅延が生じているが**R7予算をもってR8出水期前に完了を予定**。

令和6年度 ポンプ土木躯体工事完了



平成28年度~平成30年度 河床掘削実施状況



令和元年度 排水路浚渫実施状況



令和5年度 除草及び維持管理 実施状況



c 田尻排水機場の更新

完了

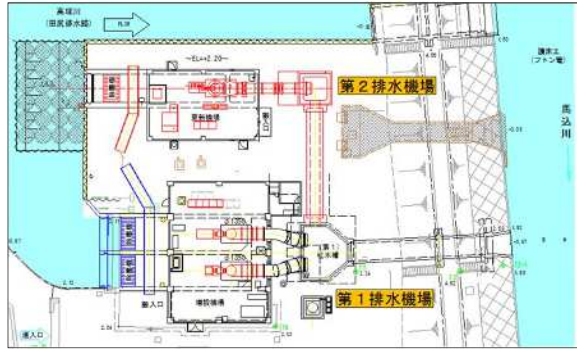
項目	ハード対策	担当機関	静岡県 西部農林事務所
	流下能力の向上		浜松市 農地整備課

【対策の内容等】

第2排水機場のポンプ設備を全面更新し、第1排水機場のポンプ設備を分解整備や劣化部品の交換・調整を行い、排水能力の回復を図る。

【進捗状況 (H28～R7)】

区分	第1排水機場	第2排水機場
H28	—	上屋撤去 1棟 ポンプ撤去 1式
H29	—	機場下部工撤去 1箇所
H30	—	樋管撤去 1箇所 機場下部工 1箇所
R1	—	上屋工 1棟 ポンプ・電気設備 1式 除塵機 1箇所
R2	ポンプ修繕 1式 電機設備 1式	ポンプ・電気設備 1式 除塵機 1箇所 吐水槽 1箇所
R3	ポンプ修繕 1式 電機設備更新 1式 除塵機更新 1箇所	—
R4	排水機場遠隔監視制御システム 1式	
R5～6	自然排水樋門改修(開閉装置、機側操作盤) 1式	



第1、第2排水機場の更新は令和3年度末に完了し、田尻排水機場の排水機能の回復を図った。

また、排水機場遠隔監視制御システム導入が、令和4年度末に完了した。

【実施上の課題と対応】

・特になし

【令和2年度実施状況】



第2排水機場 ポンプ設備

【令和2年度実施状況】



第2排水機場 吐水槽

【令和3年度実施状況】



第1排水機場 1号ポンプ修繕、電気設備更新

【令和3年度実施状況】



第1排水機場 2号ポンプ修繕

e 貯留施設整備(下水道施設)

完了

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 下水道工事課
	流出抑制		浜松市 中央土木整備事務所

【対策の内容等】

広域避難地である可美公園や、避難所である可美中学校を含む市街地(A=約19ha)の雨水を一時的に貯留するために、可美公園多目的広場地下に雨水調整池(V=10,000m³)及び流入水路を整備する。

【平面図】



【進捗状況 (H28~R7)】

全体 V=10,000m³ (雨水調整池容量)

H28 ~ H30: 雨水調整池整備

H29 ~ H30: 流入水路整備

R1 ~ : 運用開始

【実施上の課題と対応】

・特になし

平成30年度 実施状況



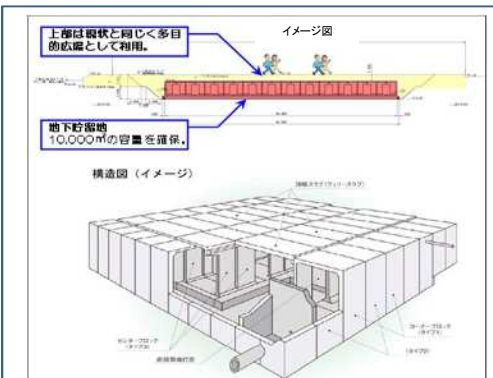
平成30年度 実施状況



令和元年度 完成状況



多目的広場の上部状況



f 貯留施設整備(校庭貯留)

完了

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 教育施設課
	流出抑制		

【対策の内容等】

学校グラウンドを利用し、学校からの雨水流出を抑制する施設を整備する。(新津小・新津中・可美中)

【進捗状況 (H28~R7)】

令和2年度までに予定した3校の整備を完了

	可美中	新津中	新津小
H28	各校へ事業説明		
H29	測量及び実施設計		
H30	—	—	整備工事
R01	—	整備工事	—
R02	整備工事	—	—

【位置図】



可美中 (約610m³) 新津中 (約440m³) 新津小 (約550m³)

【実施上の課題と対応】

・特になし

平成30年度実施状況



平成30年度施工箇所 (新津小学校)

令和元年度実施状況



令和元年度施工箇所 (新津中学校)

令和2年度実施状況



令和2年度施工箇所 (可美中学校)

令和2年度実施状況



令和2年度施工箇所 (可美中学校)

f 貯留施設整備(公園貯留)

完了

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 公園管理事務所
	流出抑制		

【対策の内容等】

公園内の駐車場やグラウンドを利用し、公園内に降った雨を貯留して流出を抑制する施設を整備する。

【平面図】



R1 庭球場 (360m³) H30 野球場 (1700m³) R1 中央駐車場 (40m³) R2 東駐車場 (1470m³)

【進捗状況 (H28~R7)】

	庭球場	野球場	中央駐車場	東駐車場
H28	現地調査及び構想策定			
H29	全体概略設計			
	—	実施設計	—	—
H30	実施設計	整備工事	実施設計	—
R01	整備工事	—	整備工事	実施設計
R02	—	—	—	整備工事

【実施上の課題と対応】

・機能を維持するための施設管理を継続して行う。

平成30年度実施状況(野球場)



令和元年度実施状況(庭球場)



令和2年度 実施状況(サッカー場)



令和2年度 実施状況(東駐車場)



h 道路側溝土砂の収集・処理

維持管理

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 道路保全課
	流下能力の向上		

完了
継続

【対策の内容等】

「みんなで住みよききれいな町」をつくるため、市民との協働による道路側溝清掃の実施に伴い発生する側溝内の土砂等を、計画的に収集・処理する。

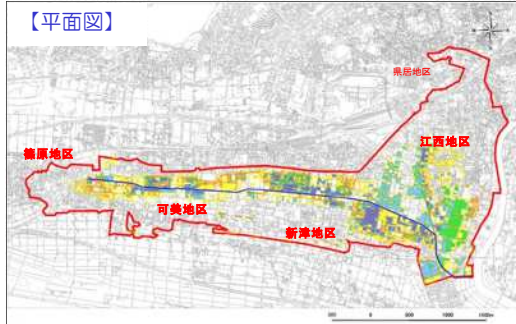
【H28～R7実績】

新津・可美・江西地区の各自治会が年1回程度実施する側溝清掃に伴い発生した土砂等の収集を実施。

○活動実績表(kg) 過去合計 = 224,390kg

	新津地区	可美地区	江西地区	合計
H28	18,640	8,370	1,400	28,410
H29	13,850	3,870	1,360	19,080
H30	5,710	2,810	710	9,230
R1	26,890	9,340	990	37,220
R2	21,780	3,540	1,190	26,510
R3	11,830	9,090	600	21,520
R4	14,640	12,540	810	27,990
R5	12,400	9,800	940	23,140
R6	11,100	6,400	2,000	19,500
R7	6,270	5,220	300	11,790
計	143,110	70,980	10,300	224,390

【平面図】



【実施上の課題と対応】

・側溝の流水機能を維持するために、自治会への清掃依頼を継続して行う。

実施状況(運搬)



実施状況(運搬)



実施状況(土砂上げ)



実施状況(土砂上げ)



排水機場の運転ルールの策定、適切な維持管理

維持管理

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	維持管理等		

完了
継続

【対策の内容等】

- ・ 農業排水機場の排水効果を発揮するための運転ルール及び管理方法の策定、実施。
- ・ 排水機場の管理人・運転人の負担軽減を図るため、塵芥移動支援業務を委託する。
- ・ 各排水機場の巡回(運転支援)を排水機場の機能に精通している業者へ委託する。

【進捗状況 (H28～R7)】

- ・ 適正な運転ルールの運用
- ・ 塵芥移動支援業務の委託発注
- ・ 運転支援業務の委託発注

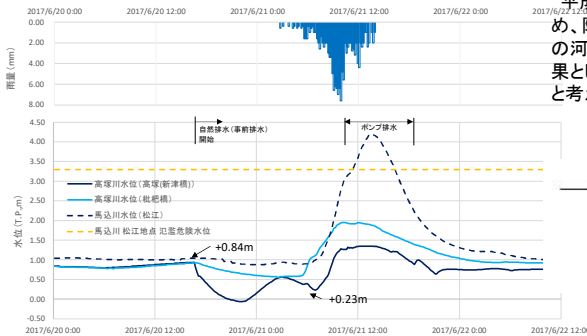
実績 集中豪雨 (R4. 7. 9)
集中豪雨 (R4. 7. 26)
集中豪雨 (R4. 9. 23)
集中豪雨 (R5. 6. 2)
集中豪雨 (R6. 8. 29)

【実施上の課題と対応】

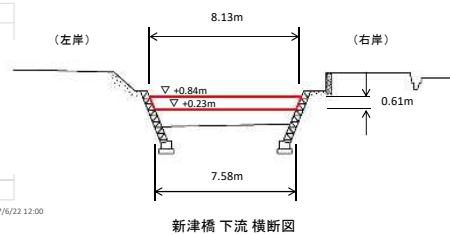
- ・ R5より運用開始
- ・ 業務委託・運転管理等は継続して実施していく。



【田尻排水機場の事前排水効果】



平成29年6月21日降雨では、事前に降雨が予想されたため、降雨前に高塚川河口部の樋門を全開する事で高塚川の河道水位を低下させた。河道内での事前排水による効果としては、**※約20,000m³程度の貯留量を確保できていた**と考えられる。



新津橋 下流 横断面図

Ⅱ 水源転換と逆流防止施設の設置

継続

項目	ハード対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	維持管理等		浜松市 河川課、中央土木整備事務所

【対策の内容等】

<水源転換>

水田への取水方法を、高塚川から取水する方法から、水路整備等を行い他の水源からの取水方法に転換する。

<逆流防止施設の整備>

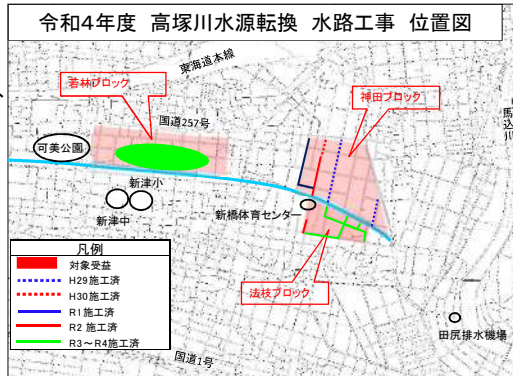
水源転換により、高塚川は治水機能のみとなることから、逆流防止施設を整備し、住宅地へ高塚川の水が逆流しないよう防止を図る。

【進捗状況（H28～R7）】

<< 水源転換 >>

	神田ブロック	法枝ブロック	若林ブロック
	H28		調査検討 L=2,000m
H29	測量・設計L=590m 工事L=10m(新設)	-	-
H30	路線計画L=1,240m 測量・設計L=940m 工事L=50m(新設)	-	-
R1	工事L=440m(新設)	-	-
R2	工事L=70m	路線計画L=1,920m 測量・設計L=920m	調査 N=1式
R3		工事L=330m L=90m	-
R4		工事L=290m(改良)	調査 N=1式 用水種償 N=1式
R6	補完工事		

【位置図】



【実施上の課題と対応】

- ・高塚川水位低下による水田への影響について経過観察を実施する(継続)

令和元年度実施状況



令和2年度現在状況(逆流防止施設)



令和2年度実施状況



今後の予定(逆流防止施設)



k 市街化調整区域における集落制度に関する開発許可制度の運用基準の見直し

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 土地政策課
	流出抑制対策		

ソフト

完了
継続

【対策の内容等】

コンパクトシティ実現化に向けて市域全体の土地利用方針を策定し、郊外地における保安と開発のあり方について検討する。また、現行の集落制度に関する基準の見直しを行うことで、市街化調整区域のさらなる宅地化の抑制を図る。

【進捗状況（H28～R7）】

- ・上位計画（都市マス）との整合を図りながら土地利用方針を検討し、引き続き見直し（案）について協議調整を行った。
- ・都市計画法の改正に対応し、市内全域の条例で定める区域において、最大規模降雨等による想定浸水深3m以上となる土地に対して立地を制限するよう条例及び基準の改正を行い、令和5年10月より運用している。
- ・浸水想定区域内における、許可申請時に想定浸水深・避難所・避難経路を確認している旨の書面の提出を義務付けた。

【実施上の課題と対応】

土地利用方針については、上位計画や各施策等と整合し、適切な規制誘導による適正な土地利用が図られるよう、関係部署との協議調整が必要。



l 水田貯留

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 農地整備課
	流出抑制		

ソフト

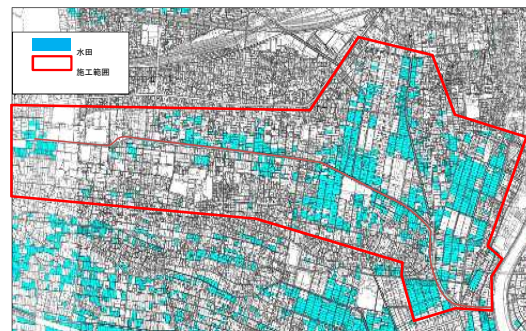
継続

【対策の内容等】

水田の排水口に堰板設置等の改良を行い、雨水の流出時間を遅らせ、流出を抑制する。

水田での湛水を許容し、農地保全や畦畔の再構築、流出抑制対応の協力を依頼する。

【位置図】



【進捗状況（H28～R7）】

H28	調査検討 (水田貯留能力)
H29	調査検討 地元調整
H30	調査検討 地元調整
R1	実現可能性調整
R2	水田貯留検討業務委託 (実証実験)
R3～R7	実現可能性調整

【実施上の課題と対応】

- ・実施には地権者・耕作者の協力が不可欠

水田貯留イメージ図

田んぼダムとは
田んぼの排水口に排水管より小さな穴の開いた調整板を設置し、水の流出を抑制することでダムの役割を果たす田んぼのことです。
多くの田んぼで取り組むことで、大規模な水田内に水を貯留させ下流域の洪水を軽減させる効果があります。

水田貯留の問題点(イメージ図)

令和2年度実施状況

水田貯留の問題点(他地区洪水時越流状況)

m 地域防災力の向上(出前講座・避難訓練)

ソフト

項目	ソフト対策 意識啓発	担当機関	浜松市 中央区・南行政センター/危機管理課 浜松市 河川課/地域住民
----	---------------	------	---------------------------------------

完了
継続

【対策の内容等】
風水害・避難行動についての出前講座、避難訓練等を実施し地域防災力の向上を図り、人的被害・物的被害の軽減を目指す。

【進捗状況 (H28~R7)】

➤ **出前講座を167回実施(南行政センター・防災G)** (災害時の事前準備、情報収集、避難に関する事等)
前期7年(平成28年~令和4年):計84回実施
R5 : 23回 (東町自治会、飯田町上組、浜松市西・南障がい者相談支援センター、白羽町自治会ほか)
R6 : 30回 (ふれあい交流センター江之島×4回、白羽町防災まちづくり隊、飯田小学校、江南中学校ほか)
R7 : 30回 (白羽町防災まちづくり隊、飯田小学校、飯田老人クラブ、楊子町シニアクラブほか)

➤ **出前講座を5回実施(河川課)**
R1 : 2回(新津小学校、可美小学校)
R5 : 1回(可美自治会連合会)
R6 : 2回(可美自治会・南高校)

【実施上の課題と対応】
・近年市内でも大規模な水害が発生しているため、市民の風水害に対する関心は高くなっている。庁舎内において洪水ハザードマップを配布する等、日ごろから市民への啓発を行っているが、引き続き、必要な防災(風水害)に関する知識や予防対策等を周知し、自助と共助の意識徹底と促進を図っていく。

防災講話 実施状況



屋上避難訓練 実施状況



出前講座状況



出前講座状況



n 土のうステーション事業

ソフト

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 河川課
	被害軽減		浜松市 中央土木整備事務所/地域住民

完了
継続

【対策の内容等】

台風や大雨による浸水被害を軽減するために、市民の自助及び共助の活動支援として、「土のうステーション」を設置し、土のうを利用してもらい事前防災の大切さを市民に伝え、水防災意識の向上を図るもの。

【進捗状況（H28～R7）】

土のうの補充袋数 過去全体合計＝13,542袋

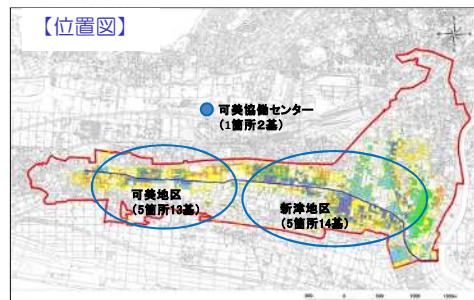
	可美地区	新津地区	可美協働センター	合計（袋）
H28	1,460	1,780	-	3,240
H29	580	720	200	1,500
H30	110	420	155	685
R01	565	1,087	1,311	2,963
R02	210	378	523	1,111
R03	95	355	300	750
R4	82	258	32	372
R5	344	1,032	512	1,888
R6	12	361	225	598
R7	50	311	74	435
計	3,508	6,702	3,332	13,542

R7：要綱改正（設置基準緩和）

【実施上の課題と対応】

・今後、市民がより効果的に水害被害を軽減できるよう、事前防災の重要性について引き続き情報提供を行う必要がある。

【位置図】



設置状況(可美協働センター)



保管庫内の状況



R5年度 浜松南高校 土のう作成訓練
作成した“土のう”は中央土木管内へ補充



R5年度 可美地区 土のう作成訓練
作成した“土のう”を可美協働センターへ補充



○ 緊急時のポンプによる排水

ソフト

項目	ソフト対策 被害軽減	担当機関	浜松市 河川課、中央土木整備事務所
----	---------------	------	-------------------

完了
継続

【対策の内容等】

緊急時に内水被害を軽減するため、ポンプを設置し、強制排水を実施する。

【進捗状況 (H28~R7)】

H28~R7：災害協定に基づき、緊急時の内水対策として、工事用の水中ポンプを設置した。

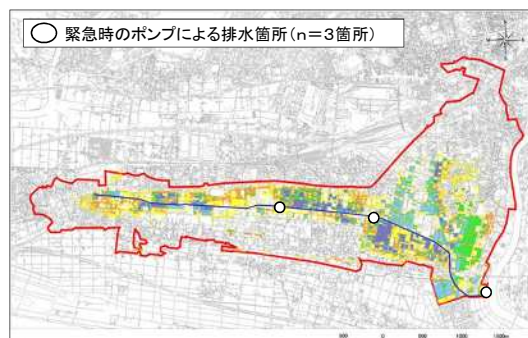
※業者への要請依頼実績 R2:0回、R1:1回、H30:1回

H28~R7：排水ポンプ車が必要となるような豪雨は、発生しなかったため、国土交通省への派遣要請は行わなかった。

【課題と対応】

引続き、豪雨による被害が発生した際、速やかに現場対応できるように、国土交通省浜松河川国道事務所及び建設業協会と連携を密にとれるよう会議等で連携を図る。

【位置図】



H27年9月の排水ポンプ車設置状況

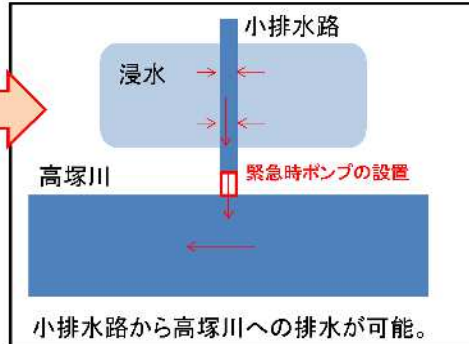
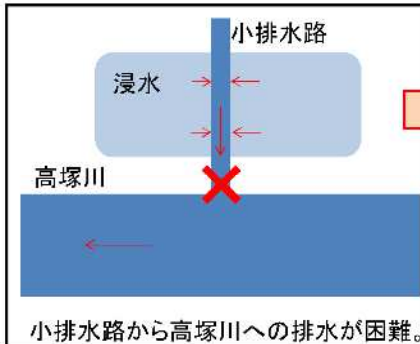


国土交通省保有の排水ポンプ車



浜松河川国道事務所内 4台保有(30m3/分)

イメージ図



p 河川カメラ・水位計の増設・公開 r 風水害時の道路情報等を市民へ公開

ソフト

完了
継続

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 河川課
	被害軽減		浜松市 危機管理課/道路保全課

【対策の内容等】

防災に関する情報をインターネット上に公開し、市民自身による判断材料とし、適切な浸水対策・避難行動に繋げる。

【進捗状況 (H28~R7)】

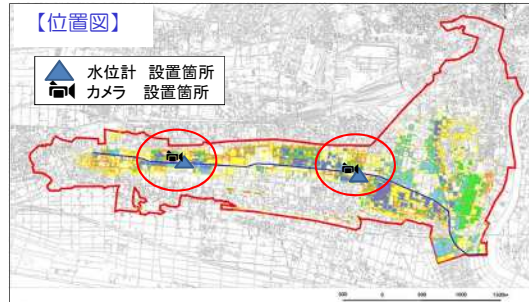
H28 河川カメラ及び水位計を1箇所増設 (全2箇所)
 河川の水位状況が閲覧できる様に水位情報をホームページにて公開(浜松市土木防災情報システム)
 道路の規制状況が閲覧できるシステムの構築
 道路の規制状況をリアルタイムで閲覧できるように道路情報をホームページにて公開(浜松市防災マップ)

H29~R7
 システムによりホームページ内で公開中

【課題と対応】

引続き、会議や出前講座等の機会を活用し、画像の見方や活用方法を説明していく。

【位置図】



浜松市防災マップ(道路情報等)

浜松市土木防災情報システム(河川カメラ)

浜松市土木防災情報システム(河川カメラ・水位・雨量)

浜松市土木防災情報システム(河川水位 高塚川)

q 高塚川の避難に関する情報提供

ソフト

項目	ソフト対策	担当機関	浜松市 危機管理課
	浸水被害軽減対策		浜松市 河川課

完了
継続

【対策の内容等】
市民の避難行動に関する情報として、浸水被害に基づく、ハザードマップの作成及び、高塚川の避難判断水位を設定し、住民へ周知・啓発する。

【進捗状況 (H28~R7)】
 H28 : 浸水想定区域、避難判断水位の設定
 H29 : ハザードマップの検討
 H30・R1 : ハザードマップの作成、市民公開
 R2~R7: 市民周知 (HP、防災マップなど)
 出前講座 (R6新津中、新津小など)

【実施上の課題と対応】
・特になし。

(浜松市防災マップ 市民公開画面)



平成28年度実施状況：避難判断水位の設定

高塚川・堀留川の水位 (内水氾濫)

高塚川・堀留川では、「避難判断の目安となる水位」を市独自(内規)に設定。それぞれの観測所水位到達で河川周辺住民に対し、避難指示等の発令を行う。

		水位観測所:高塚川	
内容	観測所水位	備考	
【警戒レベル3】 高齢者等避難	1.50m	市独自指定	
【警戒レベル4】 避難指示	1.80m	市独自指定	
【警戒レベル5】 緊急安全確保	2.00m	堤防高	

		水位観測所:堀留川	
内容	観測所水位	備考	
【警戒レベル3】 高齢者等避難	2.40m	市独自指定	
【警戒レベル4】 避難指示	2.60m	市独自指定	
【警戒レベル5】 緊急安全確保	3.00m	堤防高	

浜松市 避難指示等の判断・情報伝達マニュアル

今後の予定：市民周知・啓発

